

発刊の辞

東京佐渡三田会会長 池田正雄

平成二年二月、東京佐渡三田会「郷土史研究会」が、筑波大教授として赴任された佐渡郷土史の泰斗、田中圭一先生をお招きして第一回目の講演会を開催して以来、先生ご自身の献身的なご協力によりこの五月で第十八回目の講演会を迎えることになりました。

この間、先生の豊富な学識に裏打ちされた興味ある演題と郷愁を誘う佐渡弁を交えた洒脱な語りにつれて、聴衆も東京佐渡三田会々員のみならず広く在京佐渡出身者の間に定着してきたことは誠に喜ばしい限りであります。

東京佐渡三田会は首都圏に在住する佐渡出身の慶応義塾大学同窓生で組織され、その目的は会員相互の親睦と生涯教育の場を提供することにあります。

この度、この貴重な講演を記録にとどめ、より多くの方々に佐渡の史実をお伝えすることによって、東京佐渡三田会の役割を多少なりとも果たすことが出来ればと念願して、この小冊子を纏めた次第です。最後に東京佐渡三田会「郷土史研究会」の発足に尽力されました同窓の土屋重五氏、故梶井直紹氏並びに猪股慶四郎氏、本冊子刊行に当り様々な労をとられた山本静枝、田端栄祉郎両氏に対し厚く御禮申し上げます。

平成十年四月吉日

講演場所：新宿文化センター
講演本文……東京佐渡三田会
文責 山本静枝